

MOBOTIX JAPAN

MOBOTIX JAPAN
株式会社K.J.フェロー

231-0011
横浜市中区太田町6-85
RK Cube 4F
T 045-227-6285
F 045-227-6286
www.mobotix-japan.net
www.kjfellow.com

製品情報

ソフトウェア&サイバーセキュリティの取り組み

2018年2月26日

2018年2月

■ Mx-System リリース Mx-V5.0.2.x (全てのx16/x26カメラ用)

ONVIF Profile S、MxMC1.7用POSキャッシュレジスター統合その他

■ MxManageCenter v1.7リリース

小売店用ビュー、MxThinClient統合、ライブ録画その他を含むライセンスPOSキャッシュレジスター統合

■ MxThinClientファームウェア リリースv1.1.0.x

MxMC1.7での統合、SSL暗号化と必須パスワード変更による最適化されたセキュリティ

■ MOBOTIX カクタスコンセプト

グローバルMOBOTIXサイバーセキュリティの取り組み

■ 開発終了情報 MxEasy、MxControlCenter、MxSoftPanel

新機能追加無し、ソフトウェアとサポートは無償にて可能

1. Mx-V5.0.2.xシステムリリース 全てのx16/x26カメラ用



5.0.2.xシステムリリースは、全てのMOBOTIX Mx6シリーズのカメラのためにデザインされ互換性があります。弊社のサイトから無償でダウンロード可能です。ONVIF互換とMxMC(1.7)とVectronキャッシュレジスターシステムの次期バージョンと共にPOS機能のサポートが最も重要なイノベーションとなります。

Mx6カメラは、MxPEG+、MJPEG、H.264フォーマットでのビデオストリームを生成

Mx6カメラのプラットフォームは、MxPEG+、MJPEGビデオコーデックに加え、H.264ストリームを生成できます。(H.264ハードウェア・エンコーダーは、Mx6カメラのCPUの一部です。) MOBOTIXによって、画像とビデオデータの圧縮と保存のために開発されたMxPEG+コーデックは、その優れた個々の画質により、引き続きセキュリティ・コーデックの選択肢として有り続けます。

オプションのH.264スタンダードは、H.264が必須の入札に参加できる機会と同様に、MOBOTIXカメラをサードパーティのビデオマネジメント・ソフトウェアに容易に統合するための優位性が有ります。

サードパーティへの容易な統合のための“ONVIF Profile S”

現在最新のファームウェアバージョンMX-V5.0.2.xは、ONVIF Profile Sのサポートを含んでいます。このグローバルなオープンインターフェイスのスタンダードにより、MOBOTIXのパートナーやユーザーがカメラ、録画デバイス、アクセサリ、VMSの構成においてカスタムのコンビネーションを含んだセキュリティソリューションを計画する際に、よりフレキシブルで効果的になります。ONVIF Profile Sの情報とそれを含んだ仕様は、こちらで確認することができます。<https://www.onvif.org/profiles/profile-s/>



ONVIFのホームページ(www.onvif.org)で、右上の “Conformant Products”(準拠製品)をクリックすると、“Declarations of Conformance”(適合宣言書)を含む現在リストアップされているMOBOTIX製品の詳細情報を取得することができます。



ONVIFは、IPベースの物理セキュリティ製品の効果的な相互運用性のために、標準化されたインターフェイスを提供しプロモーションするオープン・インダストリ・フォーラムです。

当初はオーディオ機能なしのONVIF S: Mx-V5.0.2.xカメラファームウェアはまだONVIF Sオーディオ機能を含んでいないため、ONVIFのウェブサイトの準拠製品のセクションには、MOBOTIX Mx6カメラで統合オーディオ・ハードウェアを標準では搭載していないモデルのみがリストアップされています。(全てのオプションのオーディオアクセサリーの無いモデル c26、i26、p26、v26、D26、S26) 全てのMx6カメラでオーディオをサポートするバージョンは、2018年半ば、ONVIF Sのリストがこれらを含めて拡充されるタイミングで、ファームウェアアップデートにより無償で提供される予定です。

*MOBOTIX AGに確認したところ、全てのMx6カメラでONVIF Sはサポートされているとこのこと。オーディオ対応のあるカメラでは音声のみ非対応となります。

MxManagementCenter(MxMC)1.7以降の追加POS機能のサポート

MxMCバージョン1.7は、小売業や飲食業にとって理想的な実用的で入手可能なPOSビデオ・ソリューションを提供する最初のバージョンとして現在利用可能となりました。Vectron POSシステム(ドイツメーカー)からの処理データを色々な抽出条件をもとに検索し、検出されたビデオ画像にリンクさせることができます。キャッシュレジスターの統合に統合してMOBOTIX Mx6をフル活用するためには、カメラのソフトウェアをMX-V5.0.2.x以降にする必要があります。MxMC1.7とPOS機能のより詳細な情報は、下記を御覧ください。

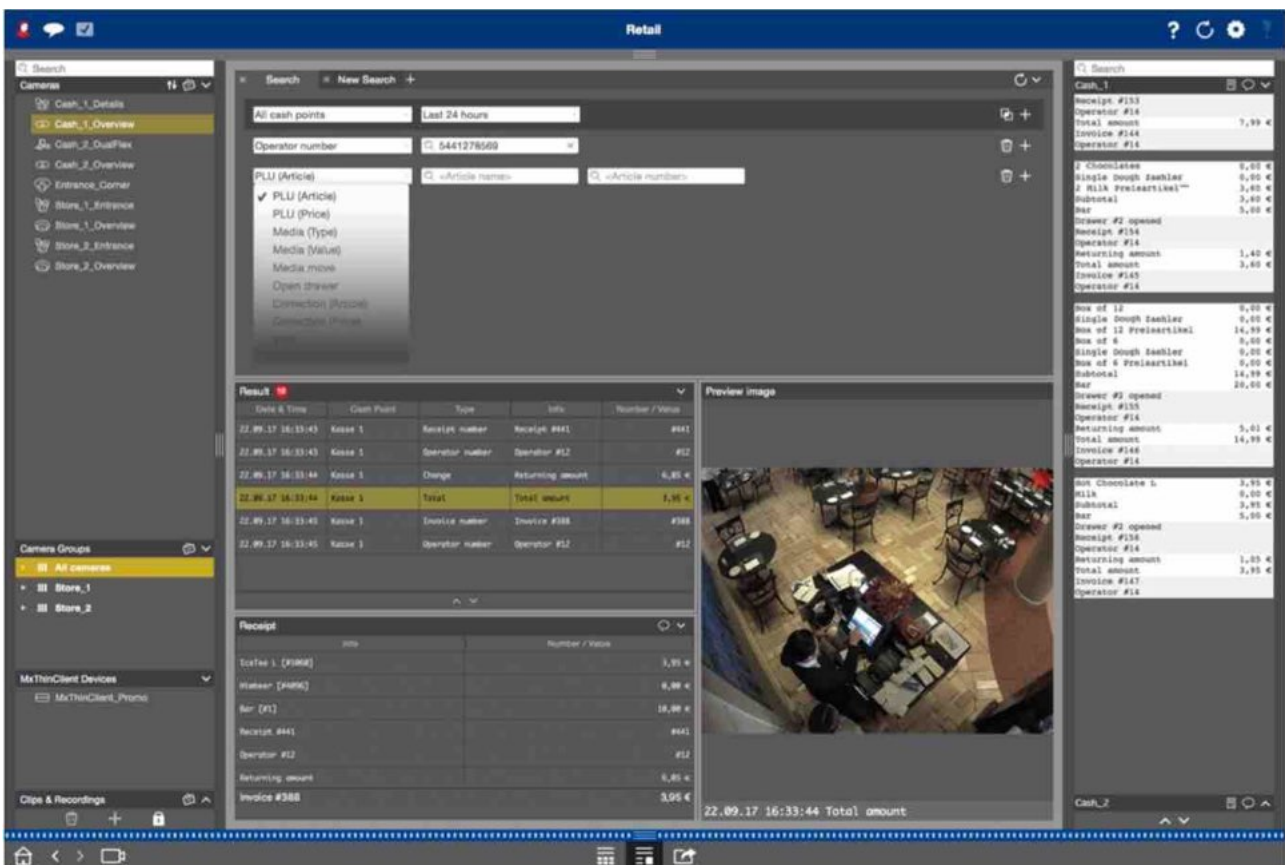
MX-V5.0.2.xソフトウェア・リリース 全てのMx6カメラ用			
詳細	リリース	価格	利用
6メガピクセルとサーマルセンサーを搭載したx16/x26シリーズのデュアルコアプロセッサを持つ全てのMOBOTIX Mx6カメラ用カメラ・ファームウェア・ONVIF Profile S*サポート・言語: ドイツ語、英語、中国語、フランス語、イタリア語、日本語、ポルトガル語、スペイン語、ロシア語、トルコ語・無償ダウンロード: http://www.mobotix-japan.net/download/software/index.html	5.0.2.x	0円	利用可能

2. MxManagementCenter(MxMC) Version 1.7

MxManagementCenterは、Windowsとアップルコンピュータ用のパワフルで直感的なMOBOTIXビデオマネジメントシステムです。最新のリリースバージョン1.7は、有益な新しい機能を含み、弊社ウェブサイトから無償でダウンロードすることができます。新しいバージョン1.7で最も重要な事は、魅力的な新たなライセンスモデルとして、Vectron POSシステムのダイレクト統合というPOS機能のサポートです。（Vectronは、ドイツのPOSメーカーです。日本での販売情報は確認できておりません。）

防止、解析と販売最適化: MOBOTIXビデオセキュリティシステムにキャッシュレジスターを統合

最近の調査によると、ドイツ国内のみにおいても小売分野での年間在庫数の差異の結果として年間40億ユーロ(日本円約5,300億円 2018年2月現在)の損失があるとの報告があります。インテリジェントなビデオセキュリティを使用することは、防止とセキュリティ対策のために10億ユーロ以上の投資があることを見ると、小売店、飲食店にとってますます重要になってきています。MOBOTIXのインテリジェントIPビデオソリューションは、伝統的な防御策を超えて全く新しい道を開きます。1回だけのライセンス費用で、MxMC1.7は最小限の投資で、POSソリューションを含み拡張されます。モダンでネットワーク化されたキャッシュレジスターからの取引データは、MOBOTIXカメラに転送され、そのビデオデータ・メモリーに保管されます。



MxMC1.7は、POSシステムからの転送データのソート機能と素早く容易に使用できる検索機能を提供します。新しい”リテールビュー”と画面右の折りたたむことができ拡張可能な”リテールバー”経由でアクセス可能です。レジの工程は、品名、価格、従業員などをベースにして解析することができます。MxMCはキーワードでキャッシュレジスターのデータを検索し、一致する取引の動画或いは画像を提供できます。ファイルは直ちに再生できエクスポート可能です。これにより、疑わしい現金の取引に関して証拠を付けてドキュメント化することが可能になります。エクスポートされたビデオは、POSライセンスの必要性無しで再生することができます。

リテールビューとリテールバーでPOS機能を使用する方法に関する詳細情報は、MxMC内のヘルプページで確認することができます。

プログラムのヘッダーの右の角にある？マークをクリックすると開きます。

典型的なアプリケーションの例:

- ・ 正しくお釣りを渡したかを素早く確認→顧客が100ユーロ札で払ったのにお釣りが20ユーロ札で支払ったお場合の時の分しか無かったとクレームをしている時
- ・ 数量、品物、支払い方法の検索→特定の数量を超える売上、キャンセル、ブランクのレシート、キャッシュレジスターが売上やカード支払いが無い時に開けられた場合の証拠として、また、年齢確認の必要な品物の販売の際にIDを確認したかどうかを確認するための写真

Vectronとの共同ソリューション開発

ベーカリーや飲食店用のPOSシステムの主要メーカーであるVectronは、MOBOTIXの提供するインテリジェントなIPカメラとそのMxManagementCenter1.7を利用してキャッシュレジスターを統合するための共同ソリューションを実現しました。現行のVectron POSシステムを使用する全てのユーザーは、1台のMOBOTIX Mx6カメラ、MxMC1.7(無償)、追加のPOSライセンスとそれに対応するVectron POSライセンスにより、便利なMOBOTIXソリューションを使用することができます。



MOBOTIX/Vectronソリューションの恩恵:

- ・ シンプルで拡張性のある完成ソリューション
- ・ カメラ内或いはサーバー/NAS/PCに暗号化されたビデオデータを直接保存
- ・ POSのオーダーからリアルタイムで適切な処理データを転送
- ・ 防止効果同様、POSの差異の素早い識別と解決
- ・ 全ての現行Vectron POSシステムとMOBOTIX Mx6カメラ(ファームウェアMX-V5.0.2.x以降)に適合
- ・ オフィス内の現場(MxManagementCenter経由)、或いは、他のMxMCワークステーションからインターネット経由で世界のどこからでも、ビデオ画像の容易な評価
- ・ いかなるウェブブラウザから、カメラからのビデオデータ(再生、ライブ画像)に無償で暗号化されたアクセスをサポート
- ・ 支店でのローカル使用、或いは本社からの容易なアクセス(支店モニタリングに理想的)
- ・ MOBOTIXは、MxMCでPOS機能のテストするための30日デモライセンスを提供

スマート統合ソリューションで、他のPOSシステムとも使用することが可能

言うまでもなく、将来的には、MOBOTIX POSソリューションを他メーカーのPOSに統合できるようにしたいと考えています。弊社までご相談ください。

どのようにPOSライセンスモデルが動作するのか

MOBOTIX MxMC1.7とPOSソリューションを十分にご利用いただくため位は、下記の基本的な設定が必要です。:

- ・ ファームウェアバージョンMX-V5.0.2.x以降のMOBOTIXのMx6カメラ1台
- ・ MxMC1.7(MOBOTIX JAPANのサイトから無償ダウンロード)
- ・ MxMC POSライセンス(MxMCワークステーション上でVectron POSシステム用で無期限有効)
- ・ 現行のVectron POS、ソフトウェアアップデート含む(Vectronライセンスは変更の可能性あり)

システムは、追加カメラ、キャッシュレジスター、MxMCワークステーションを統合することで、拡張が可能です。ソリューションに興味のあるエンドユーザーは、MOBOTIXパートナーネットワークとVectronからサポートを受けることができます。VectronパートナーはVectron POSシステムのソフトウェアアップグレードのみを取り扱います。Vectronは、そのパートナーと顧客に向けて、MOBOTIXと開発をした共同POSソリューションに関して、共同でデザインしたカタログなどで通知します。カタログは無償にてMOBOTIXのウェブサイトからダウンロード可能です。(www.mobotix.com > Support > Download Center > Documentation > Brochures & Guides)

MxMC POSライセンスの購入とアクティベート

MxManagementCenter(バージョン1.7以降)のPOSライセンスの販売とIDのアクティベートは、MOBOTIXカメラの販売チャネルを通して行われます。エンドユーザーに対するMOBOTIXセールspartnerは、MOBOTIXの新しいライセンス・ポータルサイトを通じてe-mail経由でエンドユーザーに直接MOBOTIX MxMC POSライセンスを送ることができます。(MOBOTIXのパートナーは、最初にライセンスをご注文いただいた際に、ポータルへの個々のログインデータを受け取ります。) また、パートナーとエンドユーザーは、複数のライセンスを大量保管することができます。ライセンスには有効期限がなく、デモ用ライセンスもMxMCでアクティベートするまでは、有効期限が発生しません。

MxMC1.7 その他の新しい機能:

ライブレコーダー

MxManagementCenter1.7の特徴の1つが新しいライブレコーダーです。このライブレコーダーでは、ライブビューとグリッドビューが利用可能です。ワンクリックでその時点で表示されているカメラのライブ画像から直接録画することができ、グリッドビュー内に*.mxg filesとしてそれらをセーブします。グリッドビュー内では、フォーカスウィンドウのライブカメラ画像は常に録画されます。これにより、例えば、目的の画像をライブビュー或いはフォーカスウィンドウに連続してドラッグすることにより、複数のカメラのシーケンスの際に連続録画のクリップを保存しエクスポートする事が容易になります。(録画しないカメラの設定になっている場合でも) 実用的な応用の一例の1つとしては、MxMCワークステーションで疑わしい万引き犯を追跡するために複数カメラを使用し、同時に来場客の行動を記録することができる店舗警備員の仕事です。

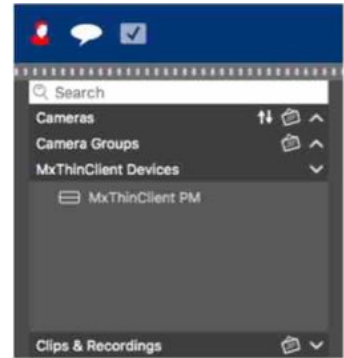


設定において管理者権限を持つユーザーは、クリップがどこに保存され、いつ録画され、どのくらい長く録画されているかを特定することができます。管理者は、ユーザーがライブレコーダーを使用できるかどうかを決定することができます。(ユーザー管理>ユーザー権限>検索>レコーダー) ライブレコーダーを使用して録画されたクリップはまた、デバイスパーの”クリップと録画”のセクションに自動的に保存されます。

MxThinClientの統合

MxMC1.7でのMxThinClient統合で、中央のワークステーションから、どのような場所にあっても、いくつのモニターに表示されている内容でも、素早く容易にカスタマイズできるようになります。(ビデオウォールのクイック設定に理想的に最適です。)

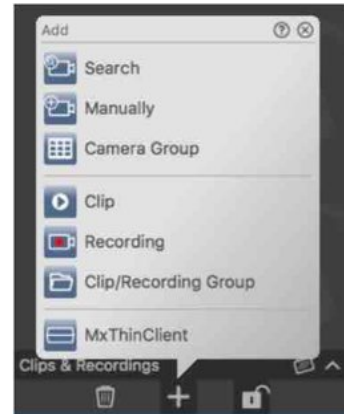
それは簡単です: ウィンドウの左端にあるデバイスバーは、カメラグループ、カメラ、デバイス、クリップを素早く誘導できます。MxMC1.7の管理者権限で、デバイスバーにMxThinClientデバイス(ファームウェアバージョンMX-V1.1.0.x以降)を追加することができ、MxThinClientにアクセスできます。(例えば、その時点で表示されているカメラの表示解像度を設定するために) カメラからのライブ画像を、ダブルクリックかドラッグアンドドロップで選択されたMxThinClientに接続したスクリーン上で直接表示することができます。1つのイベントがネットワーク内の他のカメラをトリガーとする時、画像は、特定された時間か(30秒から30分の間で5段階)、ビューがキャンセルされるか、MxThinClientが新たなコマンドを受信するまで維持されます。



統合されたカメラ無しでさえ録画再生

各々のカメラがMxMCに統合されていなくても、ユーザーはファイルサーバーに保存されている録画に直接アクセスできます。例えば、カメラが故障したり、接続が確認できなくなったときでさえ、カメラが統合されているSDカードだけでなく、NASにもそのデータを保存します。

そのために、ユーザーは、”+”経由で関連する録画フォルダーをシンプルにインポートして、録画アイコンをクリックし、録画データをアンロックするために(オプション或いは必須の)セキュリティコードを入力します。個々のビデオソースは、ダイレクト再生のための”クリップと録画”の下のデバイスバー上で表示されます。



MxManagementCenter Version 1.7 Windows/Mac OS用		
詳細	製品番号	利用
MOBOTIXビデオマネジメントソフトウェア MxManagementCenter(MxMC)・Windows用Version 1.7(Vista以降)・言語パック:英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、ロシア語、トルコ語、ポルトガル語、日本語・システム要件: 2GHz以上のプロセッサ、2GB以上のRAM、OpenGL V2.1サポートのビデオカード・無償ダウンロード: http://www.mobotix-japan.net/download/software/index.html	Mx-SW-MC	利用可能
MOBOTIXビデオマネジメントソフトウェア MxManagementCenter(MxMC)・Mac OS用Version 1.7(10.9以降)・言語パック:英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、ロシア語、トルコ語、ポルトガル語、日本語・システム要件: 2GHz以上のプロセッサ、2GB以上のRAM、OpenGL V2.1サポートのビデオカード・無償ダウンロード: http://www.mobotix-japan.net/download/software/index.html	Mx-SW-MC	利用可能
MxMC POS シングルキャッシュレジスターライセンス 1台のキャッシュレジスターをMxMCワークステーション(MxMC1.7)に接続・使用有効期限無し・ユーザー制限無し・外部ライセンスポータルからダウンロード(要アクセスデータ)	Mx-SW-MC-POS	利用可能

3. MxThinClientファームウェアリリース MX-V1.1.0.x



MX-V1.1.0.xのリリースは、MOBOTIXのMxThinClientデバイス用の最初のファームウェアアップデートです。このバージョンは、弊社ウェブサイトより無償でダウンロード可能です。下記の新たな機能の特徴としています。:

MxManagementCenter1.7にMxThinClientを統合

前項2のセクションで記述のあったMxThinClientのMxMC1.7でのサポートには、統合するMxThinClientデバイスのファームウェアをアップデートする必要があります。

データセキュリティを高めるためのパスワード変更要求

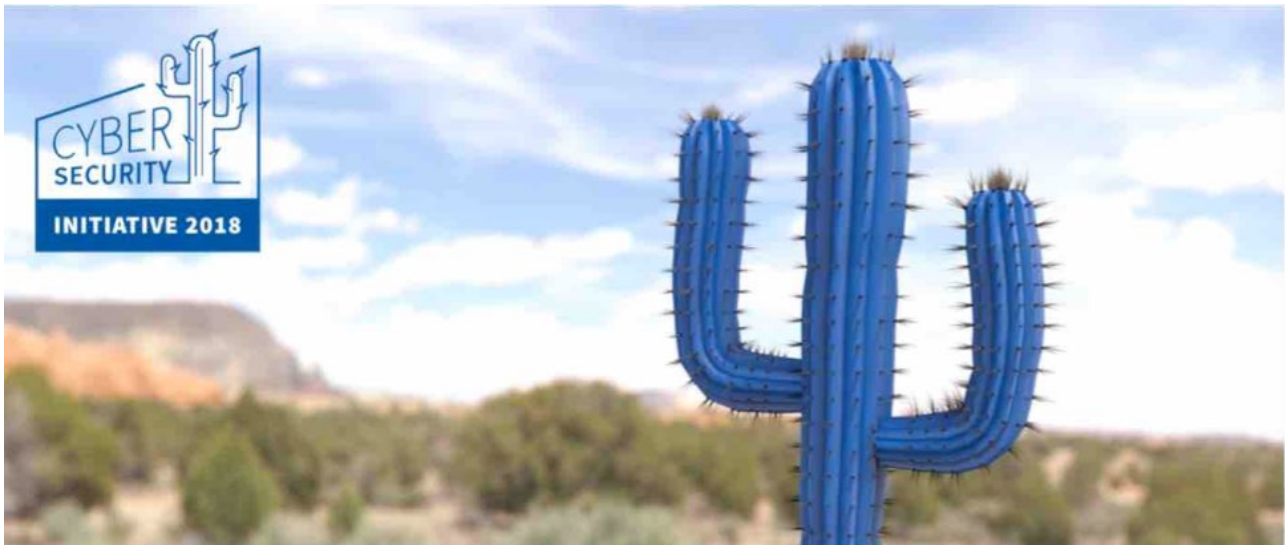
ファームウェアアップデートや工場出荷時設定に戻した後、初めてMxThinClientのウェブインターフェイスにログインする時は、標準のログインデータ(User: admin、Password: meinsm)は、デバイスを使用する前に変更しなければなりません。

追加カメラのSSL/TLSサポート

カメラとMxThinClient間の画像伝送ルートは、安全に暗号化されます。新しいMOBOTIXカメラを画像元として追加する場合に、カメラのソフトウェアとMxThinClientのメニューの両方で、暗号化された接続が切り替えアクティベートされなければなりません。

MxThinClientファームウェアリリース MX-V1.1.0.x			
詳細	リリース	価格	利用
全てのMOBOTIX MxThinClient用ファームウェア(Mx-TCLA)・言語:ドイツ語、英語、フランス語・無償ダウンロード	1.1.0.x	0円	利用可能

4. MOBOTIXカクタスコンセプト



業界トップのセキュリティ対策、独立した検査、ユーザーの知識の向上は、セキュリティシステムを保護する上で欠かせないものです。MOBOTIXは、ビデオ監視のフィールドにおいてサイバーセキュリティへの取り組みとしてカクタスコンセプトを立ち上げます。

カクタスコンセプトをご紹介するに当たり、MOBOTIXはサイバーセキュリティの問題における新しい基準を設定することを明言します。このコンセプトは、ハッカー攻撃の脅威に対して保護するための総体的アプローチを含んでいます。ゴールは、MOBOTIXの潜在的顧客と既存の顧客にネットワークベースのビデオセキュリティシステムのデータセキュリティの重要性を伝えるためのマルチメディア・セキュリティキャンペーンを実行し、企業が費用対効果の高いインテリジェントなソリューションにより、企業自身を守ることができることを示すことです。

画像ソースやデータケーブルからストレージのメディアやユーザーのコンピュータ上のビデオマネジメントシステムまで、シームレスなエンドツーエンドの暗号化は必要不可欠です。各々の枝をカバーする棘を持つサボテン(カクタス)のように、MOBOTIXシステムの全てのモジュール(カメラ、ストレージメディア、ケーブル、VMS)は、無許可のアクセスからそれ自信を守るためにデジタルの棘を持っています。

”ビデオ監視やアクセスコントロールのモダンなシステムは、世界中の人々、場所、財産を保護しますが、それら重要なシステムに侵入し、乗っ取り、無効化しようとしている犯罪者の注意をより引きつけている。” MOBOTIXのCEO トーマス・ラウステンは言います。”加えて、IoTのようなトレンドにより、毎年多くのIPネットワークデバイスが出ています。これにより、我々の業界は良い事例を用意し、これらの危険な攻撃の危険性を取り除く安全なプラットフォームを提供しなければなりません。”

デジタルビデオ監視の領域においてリーディングプロバイダーであるMOBOTIXは、開発、製造、管理の工程での包括的保護を全てのデバイスに提供し、使用と管理のサイクル全体を通してエンドツーエンドの暗号化を提案するカクタスコンセプトに確信を持っています。

セキュリティの最高基準を保証するために、MOBOTIXはセキュリティ検査の権威ある独立系第三者プロバイダーであるSySSのサービスを取り入れています。これは、ソフトウェアとハードウェア両方が安全であることを保証するために、それら进行评估するものです。SySSは、Basler Versicherungen、ドイツ陸軍、CreditPlus Bank AG、ダイムラー、ドイツバンク、Deutsche Flugsicherung、Festo、ヒューレット・パッカード、ニーダーザクセン州インテリア内務省犯罪調査事務所、SAP、Schaeffler、Schufa、T-System Union Investmentのような顧客を支えています。



セバスチャン・シュライバー、SySSのCEOはこう言っています。“MOBOTIXとの契約には、会社の技術要素に関する追加の侵入テストも含まれています。”現行のカメラモデルのための最初のプラットフォームテストの結果は、大変良いもので、進行中の工程の一部として、更なるセキュリティのテストを進めていきます。”

“サイバーセキュリティはMOBOTIXにとって重要事項であり、将来に渡っても変わらず重要です。”とトーマス・ラウステンは加えます。“我々は、我々の社会を安全な場所にする技術とシステムを守るため、業界の企業、顧客、政府当局と協力して努力していきます。”

セキュリティ機能	標準IPカメラ	MOBOTIX
HTTP(SSL/TLS)と認定	✓	✓
HTTP Digest認証	✓	✓
アクセス管理リスト	✓	✓
ユーザーとグループ権限の変更	一部	✓
侵入検知	×	✓
ボットからの保護	×	✓
暗号化録画	×	✓
暗号化ビデオとメッセージシステム	×	✓
VPNクライアント	×	✓
外部サイバーセキュリティテスト	一部	✓
安全なソフトウェア開発	一部	✓
安全、オプションのnon-IP接続(MxBus)	×	✓
頑丈なMac OSシステム上で動作する安全なVMS(MxMC)	一部	✓

5. 販売終了: 全ての現行x25/x15カメラの販売終了 T25除く

よりパワフルなCPU、機能強化したMxPEG+コーデック、平均25%のストレージ容量必要条件の減少と追加のH.264エンコーダーを持つMx6カメラプラットフォームのリリースにより、MOBOTIXは、最先端テクノロジーにおける幅広いポートフォリオの高品質の分散型IPビデオシステムを提案します。

P3プロセッサ・プラットフォーム(6MPイメージセンサー搭載のx15とx25カメラ)の要求が落ち、次世代カメラ(セクション3の製品案内をご確認ください)が既に計画されているため、MOBOTIXは、生産能力の理由により、x15/x25を2018年第1四半期に生産終了します(T25を除く)。その後は在庫がなくなるまで継続されます。

概要: 2018年3月28日時点での生産終了

全てのx15/x25カメラ - T25シリーズを除く - PXA320 XScaleハードウェア("P3")とアクセサリ

生産終了製品 2018年3月29日: x15/x25カメラとアクセサリ	
生産終了カメラ(P3ハードウェア・プラットフォーム、6MP):	代替カメラ(Mx6ハードウェア・プラットフォーム、6MP):
c25-...	Mx-c26A-...
i25-...	Mx-i26A-...
p25-...	Mx-p26A-...
v25-...	Mx-v26A-...
M15D-...	Mx-M16A-...
D15Di-...	Mx-D16A-...
S15D-...	Mx-S16A-...
V15-...	Mx-V16A-...
M25-...	Mx-M26A-...
D25-...	Mx-D26A-...
Q25-...	Mx-Q26A-...
S15-...	Mx-S26A-...
M15-TR...	Mx-M16TA-R...
M15-Thermal-...	Mx-M16TA-T...
全ての屋内カメラx25用拡張モジュール	全ての屋内カメラx26用拡張モジュール
MX-IOT-IO3-INT	Mx-A-IOA-IC
v25用オーディオ付On-wallマウント	v26用オーディオ付On-wallマウント
MX-MT-OW2-AUD	Mx-M-OWA-AU
MX-MT-OW2-AUD-b	Mx-M-OWA-AU-b

6. MxEasy、MxControlCenter、MxSoftPanelの開発終了

MOBOTIXは、下記のMOBOTIXソフトウェアソリューションに関して、新たな拡張、或いは計画されているか進行中のリクエストが無いことをお知らせします。

- ・ MxEasy
- ・ MxControlCenter(MxCC)
- ・ MxSoftPanel

現時点で、新たな拡張も機能追加のリクエストも計画されておらず進行もしていません。この開発終了は必要不可欠なセキュリティ上のアップデートには適用されません。

プログラム自体とそのサポートは通常通り引き続き可能です。

7. 2018年第1四半期の概要: MxBus付Mx6第2世代カメラ

現行のMx6カメララインの案内に記載したとおり、将来的にMxBus機能を統合したMx6カメラを提供します。必要な技術認定と認可は近く完了し、第2世代のMx6ハードウェア(x16B/x26B)を、2018年第1四半期にリリースします。

ご計画の為のご注意:

- ・ 第2世代Mx6カメラ(MxBus接続付)は、現行のMx6カメラに追加して提供されます。現行のMx6(x16A/x26A)カメラは販売は継続され、価格を改定します。
- ・ 第2世代Mx6カメラのご案内(製品詳細、価格、注文情報)は、時期が来ましたら、別途お知らせいたします。
- ・ 第2世代Mx6カメラのリリースの際に、第1世代Mx6カメラの改定価格に関しても、別途お知らせいたします。

8. スケジュール

新ソフトウェア - リリース日

MX-V5.0.2.x システムリリース	現在可能
MxManagementCenter version1.7	現在可能
MxThinClient ファームウェアリリースMX-V1.1.0.x	現在可能

お問い合わせ先：MOBOTIX JAPAN（モボティックス ジャパン）

Tel：045-227-6174

Fax：045-227-6286

e-mail：cam-sales@mobotix.jp

www.mobotix-japan.net

MOBOTIX AGについて：

MOBOTIX AGは、1999年にドイツ・カイザースラウテルンで、Dr.Ralf Hinkelにより創業された、ネットワークカメラ・システム開発製造会社です。全てのMOBOTIXネットワークカメラは、ドイツ本社工場で製造されています。

www.mobotix.com

MOBOTIX JAPANについて：

MOBOTIX JAPANは、MOBOTIX AGの日本パートナーである株式会社K.J.フェローにより運営されています。

MOBOTIX JAPANは、MOBOTIXの日本総輸入販売代理店です。

www.mobotix-japan.net

K.J.フェローについて：

株式会社K.J.フェローは、2003年10月に創業。ネットワークカメラ、セキュリティ関連の海外製品の輸入販売、コンサルティング専門のIT&セキュリティ技術商社です。MOBOTIX JAPANを運営し、日本市場開拓を担っています。

www.kjfellow.com